



京市博物館蔵
（即山繪画）より
第4号巻紙（部分）
第一画 第一巻



さかい与謝野晶子

青春の短歌大会

選歌集

海こひし潮の遠鳴り数へつつ少女となりし父母の家



青春の短歌に栄えあれ

この「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」は、堺に生まれ育ち、その清新な感性で近代短歌の黄金期を確立した与謝野晶子を顕彰するために、平成7年に堺歌人クラブによって発足し、平成15年から産経新聞社の主催で開催されていた「与謝野晶子短歌文学賞」の歴史と伝統を受け継ぎ、晶子短歌の魅力を次世代に伝えることをめざしています。

全国の高校生に広く短歌募集を呼びかけたところ、1万507首の短歌作品が寄せられました。

応募から選考にいたるまで、多くの関係各位にお世話になりました。とくに選者の今野寿美様、堺歌人クラブの小西美根子会長、与謝野晶子倶楽部勾欄子委員には多大のご尽力をいただきました。主催者を代表して心よりお礼を申し上げます。

与謝野晶子倶楽部会長 太田 登

短歌を通じて交流を

長い伝統のある短歌を、ぜひ若い人たちに継承していただきたいという思いから、今年新たに「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」が発足いたしました。与謝野晶子の生誕地堺市の協力のもと、与謝野晶子倶楽部様と堺歌人クラブの共催で、短期間の準備で実現にこぎつけたことはこの上ない喜びでございます。

コロナ禍での休校も続いたなか、全国の高校から多数投稿いただき、心より感謝申し上げます。この大会が晶子の業績を顕彰しつつ、短歌を通じての高校生の交流の場になることを切に願っております。

賞の提供などご協力をいただきました多くの関係者各位に厚く、お礼申し上げます。

堺歌人クラブ会長 小西 美根子



第1回さかい与謝野晶子 青春の短歌大会

次第

令和二年十二月十三日（日）於 さかい利晶の杜

表彰式 十三時三十分～十四時 一階観光案内展示室

選評会 十四時二十分～十五時 一階茶室

講演会 十五時十分～十六時十分 一階茶室

テーマ…与謝野晶子と『明星』

講師…今野寿美



大正期の晶子（文化学院蔵）

第1回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会開催に際して

この度「第1回さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」が無事開催の運びとなり、開催に際しご尽力賜りました関係者の皆様に、心から御礼申し上げます。

また、今大会に1万首を超えるご応募をいただき、素晴らしい作品の数々が日本全国から晶子のふるさとである堺の地に寄せられましたこと、大変嬉しく感じております。

短歌を通して、青春の1ページを見事に表現された作者の皆様の豊かな才能と感性に大きく期待するとともに、今後のご活躍を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

さかい利晶の杜 館長 隈元 英輔

与謝野晶子の表現世界とその生き方に触れる

さかい利晶の杜 与謝野晶子記念館

『みだれ髪』に始まる多くの詩歌集を出版し、また、『源氏物語』の現代語訳や社会問題、教育問題にかかわる評論活動まで行い、明治・大正・昭和という激動の時代にあって、常に新しい世界に挑戦し、表現し続けた晶子の姿を紹介する文学館です。

さかい利晶の杜

〒590-0078 堺市堺区宿院町西2丁1-1 TEL 072-260-4386
<http://www.sakai-rishonomori.com>



目次

主催者挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第1回さかい与謝野晶子青春の短歌大会	
表彰式・選評会・講演会次第・・・・・	2
さかい利晶の杜（共催者）・・・・・	2
目次・・・・・・・・・・・・・・・・	3
短歌賞ヒストリー・・・・・・・・	3
選者紹介・・・・・・・・	3
選考経過・・・・・・・・	3
入賞作品・・・・・・・・	4
最優秀校・・・・・・・・	6
入選作品・・・・・・・・	7
	10

短歌賞ヒストリー

全国を展望する恒久的な与謝野晶子顕彰事業として、第1回「与謝野晶子短歌文学賞」は堺歌人クラブ会長を実行委員長とし平成7年に堺市で開催されました。その後、平成15年の9からは、産経新聞社主催で開催いただくことになりました。

産経新聞社主催での与謝野晶子短歌文学賞が第24回をもって休止したことを受けて、与謝野晶子倶楽部と堺歌人クラブが堺市と連携し、令和の新時代に与謝野晶子の魅力を広く発信するため、青春の短歌に焦点をあて、新たに「第1回さかい与謝野晶子青春の短歌大会」を開催する運びとなりました。開催にあたり、産経新聞社と与謝野晶子の出身校「堺女学校」の後身である大阪府立泉陽高等学校に協力をいただきました。



泉陽高校にある「君死にたまふことなかれ」の詩碑

選者紹介

こんの
今野 寿美氏



1952年東京都生まれ。歌誌「りとむ」編集人。宮中歌会始選者。昭和54年に「午後の草」で第25回角川短歌賞受賞。平成元年に『世紀末の桃』で第13回現代短歌女流賞、22年に「かへり水」により第37回日本歌人クラブ賞ほか。歌集に『若夏記』『龍笛』『さくらのゆゑ』など。『24のキーワードで読む与謝野晶子』『みだれ髪訳注』『歌ことば100』『森鷗外―短歌という詩型に生涯愛情を持ち続けた文豪』など、与謝野晶子、「明星」をめぐる著書がある。

選考経過

令和2年度の「第1回さかい与謝野晶子青春の短歌大会」では、高校生を対象に短歌の募集を行いました。募集は、6月1日から9月7日の期間で実施し、全国の高校62校、6616名から1万507首のご応募がありました。北は岩手県から南は鹿児島県まで全国の高校生からたくさんの応募をいただきました。学校単位の団体応募は50校で、最多の投稿をいただいた高校は、1560首でした。

選考については、1次選考を堺歌人クラブで行った上で、今野寿美氏に最終選考をお願いしました。上位9首並びに選者賞に選評をいただき大賞ははじめ入賞とし、60首の入選歌を選んでいただきました。また、複数の入賞や入選を果たした学校から最優秀校を決定いたしました。

大賞

夏休み^{あなた}貴女に会えて嬉しいと貴方^{あなた}が
言うから温度が上がる



神戸市立神港橋高等学校 神谷 玲空

「この歌を考えたのは、中学校2年生の頃です。当時の素直な心情をそのまま歌に表現しました。その当時の国語担当の先生に絶賛してもらって、とてもうれしかったことを覚えています。」

選評

「貴女」と「貴方」を使い分けて上の句・下の句に配置した一首の構造が鮮やか。語りのはずみが、上気せずにいられない場面にぴったり。

与謝野晶子倶楽部賞

やめてくれ優しくしないで笑わないで
それ以上は好きになるから

大阪府立枚方なぎさ高等学校 光安 蘭丸

選評

逆説的物言いから正直な恋心を引き出す流れが個性的で巧み。恋の発端を軽やかに打ち明けた。

堺歌人クラブ賞

白浜に裸足で今を刻むとき言葉になら
ない日記を残す

福岡県・福岡女学院高等学校 辻 愛生

選評

発想に詩的センスが感じられる。思い切って自然体になってみると、そのまま今の自分の記録ですね。青春を満喫する感じ。

さかい利晶の杜賞

甘酒が冬と真逆の季語と知り江戸の食へとタイムスリップ

東京都・学習院女子高等科 内海 響

選評

飲むと暖まるから人気の甘酒なのに夏の季語。夏バテに効くとされたそうで。知的な楽しさをうまくこなした。

堺市長賞

昨日今日話せたんなら帰納法あの子と会話明後日もだろ？

鹿児島県・鹿児島第一高等学校 竹下 玲司

選評

恋のさなかの期待感も数学用語でこなしてみせる。その心意気が大いに頼もしい。重みがあります。

堺市教育長賞

夏だから極端なことしてみたい地獄のように煮込んだカレー

東京都・学習院女子高等科 梅津 見帆

選評

〈普通〉を少しはみ出したい欲求がユニークな形容を生み出している。「マクベス」の魔女の鍋のぐつぐつを思い出した。

大阪府知事賞

新しい一ページ目の一文字目不思議となぜか丁寧に書く

大阪府立金岡高等学校 荒川 裕絵

選評

誰にも体験があるはず。それも学校で学ぶ時期に。ささやかで、快い緊張感を素直に伝え、たちまち共感を覚えさせる。

大阪府立泉陽高等学校賞

一日がこんなに早く過ぎるのは君のせいだと気づく休日

東京都・星美学園高等学校 江南 凜

選評

休日だと会えない。学校でしか会えない。初恋って、だいたいそうですね。初々しい心情がすつきりまとまった。

産経新聞社賞

野球部は拝所の前を一礼し初夏の御陵を駆け抜けていく

大阪府立三国丘高等学校 船田 愛子

選評

エリアに御陵があるという厳かな環境。当たり前のように敬意を表してランニングを再開する野球少年たちの身のこなしが実にさわやか。

選者賞

もう二度と顔も見たくはないけれど笑顔で話せる私の勝利

大阪府・関西大倉高等学校 志村 凜和

選評

少し複雑な心理をうまくとらえた。仲違いして憤慨するくらいに反発しているけれど、その後も笑顔でさりげなく。私のほうが上手よね、と言つてのける胆力に脱帽しました。

見えぬ敵マスクをつけて見えぬ顔どちらが敵か見分ける心

岡山県・岡山学芸館高等学校 柴垣 有我

選評

今の社会状況をいう上の句。それを承けて真理を問う下の句。ことばが絡み合うさばけたうたいぶりに、高校生の真摯な思索と創作の並々ならぬ意欲が感じられた。

指さして蝉だと笑う君はいつその儚さに気付くのだろう

東京都・学習院女子高等科 大川 愛莉

選評

都会の夏にも蝉は適応して存分に鳴き、あつてなく果てて骸を曝す。珍しくもないのに、もっと大人の反応しろよと言いたげなのに、下の句の柔軟な収めには思慮深くて包み込むやさしさがある。

最優秀校賞

学習院女子高等科

(東京都)

「さかい利晶の杜賞」

甘酒が冬と真逆の季語と知り江戸の食へとタイムスリップ

「堺市教育長賞」

夏だから極端なこととしてみたい地獄のように煮込んだカレー

「選者賞」

指さして蝉だと笑う君はいつその儚さに気付くのだろう

「入選」

「映えるね」と友の前では言うけれど実はタピオカ苦手女子です

セミたちは音階なんか関係ない存在証明をただ叫ぶんだ

黒鍵をなぞる右手を飛び出したスタッカートが虚空に跳ねる

傷ついたものは光ると言っていたサカナの鱗や水晶でさえ

華やかに咲き誇っている桜より秘密話せる葉桜が好き

「違うのは色だけ味は同じだよ」聞き捨て舌を青く染めたり

雷が鳴った気がして外見ればむこうの空に一輪の花

青と白の配合を間違えたような色した空に鳥をひとつ

イメージと違ったマスクの下の顔勝手にがっかりしてすみません



学習院女子高等科

内海 響

梅津 見帆

大川 愛莉

蓮尾 まりほ

伊藤 優希

東瀬 美咲

福田 いまり

俣野 桜子

村上 理穂

山下 美咲子

山内 穂乃華

高木 愛佳

入選

星空見て得意気に言うオリオン座他の星座の事は聞かないで

静岡県立浜松湖南高等学校 坂本 舞奈

二年生新しく出来た後輩は俺より確実背が高い

神戸市立神港橋高等学校 赤枝 季

くじ引きを共に引いた妹に私の運は吸われたのかも

神戸市立神港橋高等学校 植月 陽香

おはようこの一言が言えなくてあなたとの距離は縮まらない

神戸市立神港橋高等学校 木暮 風夏

マスク着け扇風機持ちまとめ髪女子高生の暑さ対策

神戸市立神港橋高等学校 高田 佳奈

墨汁のにおいあふれる教室は私を癒す特別な場所

山口県立防府高等学校 福島 晏加

懐かしい新型コロナ祖父は言う我が青春のあこがれの車

山口県立防府高等学校 相本 純奈

すすすくとのびるひまわり嫉妬して日にあててみた成績表

山口県立防府高等学校 村田 成美

青春がどこに行ったか分からずに脳裏をよぎる井上陽水

山口県立防府高等学校 磯辺 樹

外からは男の夢の女子クラス入ればそこには女の現実

山口県立防府高等学校 田中 彩也

勉強ができればモテると聞いた日に頑張る君は輝いていた

大阪府・大阪桐蔭高等学校 金谷 正義

黄昏の空に私の居場所問う迷うことなく進めよ進め

大阪府・関西大倉高等学校 厚澤 雅記



自肅中画面ごしにデートする一番近くて一番遠い

愛知県立豊橋西高等学校

池田 聖来

大きさも形も色も温もりも違うからこそ心なんだ

大阪市立高等学校

立溝 莉々

かさぶたをはがした膝がヒリヒリと痛むくらいに君が好きだよ

大阪市立高等学校

永田 夏鈴

レジ袋おつけしますかいいりませんこのやりとりを削減したい

大阪市立高等学校

赤澤 孝太

マスク慣れ息苦しいとも感じないあたりまえほど怖いものはない

大阪市立高等学校

澤田 サラ

スマートフォンブルーライトを浴びているスポットライトを夢に見ながら

大阪市立高等学校

吉村 泉輝

神様よなぜ向かい風にするのです私は速く走りたいのに

大阪府立鳳高等学校

益田 結以

鉛筆とスケッチブックを持ち出して描いたものは戻らぬ今で

大阪府立鳳高等学校

西田 祐希

踊るペン舞台は机上音楽はアレグレットの数式解説

鹿児島県・鹿児島第一高等学校

蛭原 花帆

未完成の迷路の中に見えるのは何でも無い日に迷う私

鹿児島県・鹿児島第一高等学校

岩切 実優

憧れは追いつくよりも追いつきたいきらり輝く瞬間を見て

鹿児島県・鹿児島第一高等学校

宮崎 虎太郎

水槽に「かわいそうね」とつぶやいた「あんたもでしょ」と金魚は言った

鹿児島県・鹿児島第一高等学校

香山 華奈

「暑いね」と君の隣を歩いたら夏が始まる音が聞こえた

大阪府立東住吉高等学校

村上 和香奈

君のことどうして好きか聞かれても寝顔で惚れたとか言えないよ

大阪府立枚方なぎさ高等学校

前里 優依

燦々と照る向日葵のかたわらの君が押さえる麦わら帽子

大阪府立山本高等学校

ルオン フー クン

行きんさい悩んどっても無駄じゃえやるだけやりや悔んだりせん

大阪府立山本高等学校

中西 航

土砂降りの雨降る中で自転車漕いでいるとき無心です

大阪府立山本高等学校 中川 稚菜

見てみたいクラスの皆^{みんな}どんな顔いつまで経ってもマスクのままだ

大阪府立山本高等学校 田淵 有花

三十分早くに着いた私よりもう三十分早かった君

大阪府立山本高等学校 宮本 美智子

もう今は見上げることも少なくてすぐそこにある美しい空

鹿児島県・神村学園高等部 飯尾 優太

僕と君初項は同じでも公差の符号が違う等差数列

京都府立嵯峨野高等学校 笹村 航

通学路途中に通る天満宮成績上がれと心で拝む

京都府立嵯峨野高等学校 湯本 翔大

大空にパーンと音を立てながら飛んで行っっては儚く散った

京都府立嵯峨野高等学校 越智 恵

いつもより人の少ない大通りそれでも変わらぬ空を見上げる

京都府立嵯峨野高等学校 岡 健生

休み時間離れなさいと言われても心の距離は常に密です

京都府立嵯峨野高等学校 服部 京佳

すれ違うペトリコールと虹の跡入道雲が夏を運んだ

京都府立嵯峨野高等学校 赤坂 芽衣

「映えるね」と友の前では言うけれど実はタピオカ苦手女子です

東京都・学習院女子高等科 蓮尾 まりほ

セミたちは音階なんか関係ない存在証明をただ叫ぶんだ

東京都・学習院女子高等科 伊藤 優希

黒鍵をなぞる右手を飛び出したスタッカートが虚空に跳ねる

東京都・学習院女子高等科 東瀬 美咲

傷ついたものは光ると言っていたサカナの鱗や水晶でさえ

東京都・学習院女子高等科 福田 いまり

華やかに咲き誇っている桜より秘密話せる葉桜が好き

東京都・学習院女子高等科 俣野 桜子

「違うのは色だけ味は同じだよ」聞き捨て舌を青く染めたり

東京都・学習院女子高等科 村上 理穂

雷が鳴った気がして外見ればむこうの空に一輪の花

東京都・学習院女子高等学校 山下 美欧子

青と白の配合を間違えたような色した空に鳥をひとつ

東京都・学習院女子高等学校 山内 穂乃華

イメージと違ったマスクの下の顔勝手にがっかりしてすみません

東京都・学習院女子高等学校 高木 愛佳

私よりはるかに小さいあなたたちいつまで地球をふり回すのか

大阪市立西高等学校 篠田 優恵

花柄の浴衣と少しのお化粧と年に一度の魔法をかける

大阪市立西高等学校 田丸 志季

オンライン僕は真顔で授業受け姉は笑顔で飲み会中

岡山県・岡山学芸館高等学校 西村 颯太

電話越しのあなたの言葉は美しい「努力くらいしかまともにできない」

東京都・武蔵野大学附属千代田高等学校 宮下 真央

もし君にうれしいことがあったなら目のビー玉を光らせてみて

埼玉県・星野高等学校 東風平 梨緒

牛乳瓶であなたの摘んだたんぽぽが私の好きな形に眠る

埼玉県・星野高等学校 田中 望結

親指で傷つけられるこの時代刃物にするな自分の言葉

大阪府立旭高等学校 石田 明日花

教室で凝ってないのに首回す隣の君を横目にみながら

大阪府立旭高等学校 西 ひかり

駐輪場自転車とめて歩き出す心のギアをくつとあげて

大阪府立旭高等学校 治田 杏香

炎天下練習中の一休み水ってこんなにうまかったつけ

東京都立府中高等学校 守谷 大樹

テストの日「勉強してない」言う人はだいたい良い点取っている説

山口県・柳井学園高等学校 酒井 美桜

夏花火今年も君は空を見る今年も僕は君だけを見る

大阪府立堺東高等学校 中村 颯大

* 短歌掲載辞退者一名

与謝野晶子のプロフィール

与謝野晶子 [明治 11(1878)年 12 月 7 日 - 昭和 17(1942)年 5 月 29 日]

堺市甲斐町の菓子商駿河屋二代目鳳宗七とつねの三女として生まれました。本名は鳳(ほう)晶(しょう)。幼少期から帳場の手伝いのかたわら源氏物語に親しみ、大阪府立泉陽高等学校の前身にあたる堺女学校を卒業後は、詩歌の世界にめざめました。新しい詩歌の旗手であった与謝野鉄幹(寛)と出会い、「明星」を代表する歌人として活躍し、第一歌集『みだれ髪』は石川啄木ら当時の文学青年たちに多大の影響を与えました。その後も「君死にたまふことなかれ」や多くの秀歌を発表し、「日本女詩人の第一人」として時代の頂点を極める存在になりました。

晶子は『春泥集』『夏より秋へ』などの詩歌集だけにとどまらず、小説集、童話集、評論集、歌論書のほかに『新新訳源氏物語』『新訳紫式部日記・新訳和泉式部日記』などの古典の現代語訳を刊行し、さらにヨーロッパから帰国後は、女性の自立と地位の向上をめざした評論活動、教育活動にも大きな功績を残しました。明治、大正、昭和という激動の時代にあって、すぐれた「先見性」と「国際性」をもって「表現者」として真摯に生きた晶子のメッセージには、21 世紀を生きる私たちにも勇気と感動を与えるものがあります。

主 催・・・与謝野晶子倶楽部、堺歌人クラブ

共 催・・・さかい利晶の杜

後 援・・・大阪府、堺市、大阪府教育委員会、堺市教育委員会

特別協力・・・大阪府立泉陽高等学校、産経新聞社